

2018年
秋号編集・発行
広報委員会

理念

はやしのはなし

Heartful & Healing Hospital ～ハートフル アンド ヒーリング ホスピタルとして～
私たちは常に優しさと思いやりの心をもち、良質で信頼される医療の実践により
心から癒される病院であることを目指します。

はやしの
健康まつり

平成30年
10月28日(日) 9:00-13:00

いろいろなイベントを体験して
自分のカラダについて知ろう！

【イベント内容】

- * 健康チェック(身体測定・血圧・脳年齢測定)
- * 栄養教室 * 手指消毒チェック
- * 車イス乗車体験
- * 介護用品の展示・自助具販売

あなたの脳は
何歳?!



おすすめ!

日頃の疲れをとってリフレッシュ☆

* アロマハンドマッサージ * セラピストによるマッサージ

お楽しみ
抽選会
空くじなし!

来場者特典
ふるさと学園さんの
手作りクッキー
☆先着50名☆

ウェルカム
あざみさんによる
コロッケ
販売☆



ピアノ
コンサート
12:20-13:00
ピアニスト 飯屋澄江さん

林内科胃腸科病院

〒890-0045 鹿児島市武2丁目33-8 TEL: 099-257-6969

【協力】
* 有限会社 南州メディカル
* 障害者自立支援センター ウェルカムあざみ
* 障害者支援施設 ふるさと学園

冬の感染を予防しましょう!

毎年、秋から冬にかけてインフルエンザやノロウイルスを中心とした食中毒や感染性胃腸炎が流行しています。そこで、自分でできる感染症対策として、インフルエンザやノロウイルスの予防法を中心にお話したいと思います。

感染症
予防策

免疫力がダウンしがちな冬の時期、休養や睡眠をしっかりとって、栄養バランスのよい食事を心がけましょう。インフルエンザの予防には、流行前のワクチン接種が有効ですが、感染予防の基本は手洗い・うがいなどの日常生活の対策が重要です! ウイルス感染した人が、マスクをしないで咳やくしゃみをするとうイルスを含んだ飛沫が飛び、それを吸い込むことで感染が拡大します。

1. マスクを着けましょう!

症状のある方は、マスクを着用しましょう。また、予防にもマスクをおすすめします。
●マスクは鼻の周りに隙間を作らないよう装着する。
●捨てるときは内側に触れないように気を付ける。



2. うがいをしましょう!

●予防には帰宅直後のうがいが効果的です。
●初めに口の中の隅々までブクブクうがいをして吐き出し、その後、ノドのガラガラうがいをします。
●ノドや空気が乾燥している冬は、頻繁にうがいをする。



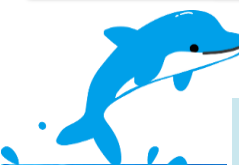
3. 手洗いをしましょう!

●色々なものが付着している手を鼻や口、目などに持って行くことでウイルス・細菌が体内に侵入します。
●石鹸の泡をよく立て、手のひら、手の甲、手首、指の腹や、爪の間も念入りに洗い、流水で十分すすぎ、清潔なタオルかペーパータオルでよく拭き取って乾かしましょう。



感染を広げないために、一人ひとりが「かからない」、「うつらない」ための対策を心がけましょう♪

(外来看護師 大山 さおり)



水族館に行ってきました!~0~

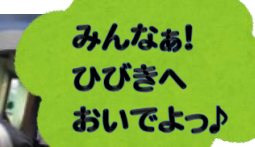
9月は敬老月間。水族館のイベントを活用し「イルカの時間」と「8代目ユウユウ(ジンベエザメ)」を見にいきました~0~
日常の活動や日々の機能訓練で、お出かけをもっと楽しく出来るように、デイサービスひびきでは全スタッフ総力を挙げて、「活動的に」過ごしています!!

敬老の日は、お楽しみ会で盛り上がりました♪



デイサービス
ひびき

電話:250-7117
管理者:渡辺健太郎
定員18名/日
お試し利用随時受付中



みんなあ!
ひびきへ
おいでよっ!



部署紹介、医療技術部



●業務の内容について

当院のリハビリテーション課では、脳出血・脳梗塞後の麻痺に対してのリハビリや肩・腰・膝に疾患を持つておられる方、また病気で起き上がる事が出来ずに足腰が弱ってしまった患者様・利用者様のリハビリを行っています。

言語聴覚療法も厚みがあり、言語障害の方や嚥下障害（食べ物が上手く呑み込めない）の方へのリハビリを院内だけでなく訪問でも提供できるようになり、より充実してきました。

●部署を漢字一文字で表すと？

まあ、和ですかね（笑）
患者様も「ここはにぎやかね。」と一緒に笑顔になって和んで頂けていると感じています。

●部署自慢をどうぞ！

スタッフ同士が仲が良いことです。それに皆が献身的に動いてくれるので、スタッフの突然の体調不良とかもお互いにカバーしあっています。

●部署代表から一言

現状に満足せず、スタッフひとりひとりのスキルアップはもちろんのこと、部署単位としても中身の充実に努めていきます。よろしくお願いします。
（主任 上山 裕二）

リハビリテーション課

漢字1文字で表すと…



和

訪問リハビリテーション



訪問リハビリテーションとは…

基本的には通院やデイケアなど、ご本人様が自宅から外出することが難しい方に対して、こちらからご自宅に向いてリハビリを行うサービスの事です。
介護保険の適用となりますが、事前に担当のケアマネージャーさんや、主治医の先生からの許可が必要で、
もっと詳しく知りたいという方は、気軽にお声掛けください。

★職員体制★

理学療法士	6名
作業療法士	3名
言語聴覚士	2名
運動療法士	1名

小児こたばのリハビリテーション



小児こたばのリハビリテーションとは…

「こたばが遅い」発音がわかりにくいなどの困りごとを抱えることもさんに対し、こたばの訓練を行っています。
リハビリの流れとしては、診察を経て、現在の発達状況の確認をして、支援が必要であれば、リハビリという流れとなります。状況にもよりますが、おおむね週1回程度の訓練となります。月曜日・土曜日まで対応しておりますので、時間の融通もききやすいです。なにか心配ごとがあれば、ご相談をお待ちしております。

薬剤課



漢字1文字で表すと…

優

●業務の内容について

内服薬や注射薬の調剤業務、入院患者さんへの薬の説明や飲み合わせの確認、医薬品に関する情報の収集・保管を行い、医師・看護師などの医療スタッフに情報提供を行っています。また、医療チームの一員として、院内の委員会活動やカンファレンスに積極的に関わっています。

●部署を漢字一文字で表すと？

ズバリ「優」です。患者さんはもちろん、院内の医療スタッフに対しても優しい気配りをするように心がけています。

●部署自慢をどうぞ！

漢方をはじめ、各薬剤師がそれぞれの得意分野の向上を目指し、研修会への参加など日々自己研鑽に励んでいます。

●部署代表から一言

薬の専門家として、お薬のことだけでなく、患者さんの声ひとつひとつに耳を傾け笑顔で丁寧に優しく対応できるように努めています。質問があれば、どうぞお気軽に声をかけてください。
（主任 新村 赴人）

院内研修

他事業所との合同研修！

退院支援事例研修 ～ベッドサイドから地域へ～

院内の医師を含めた多職種スタッフを対象に、実際当院で退院支援を行った事例の発表を行いました。

今回の事例は、栄養管理・認知症・高齢世帯であることから、院内スタッフからも「家の生活は難しいのでは」と声が出ている方でした。ご本人・ご家族の「もう一度家で」という強い思いから、病院と地域の事業所と協働して退院支援を行った事例でした。現在も地域で支えている事業所様にも講師としてご参加頂き、現場での支援や生の声を聞くことができました。

発表するにあたり、ご自宅へ伺いましたが、驚くほどお元気で「笑顔」で生活されていました。

この研修を通して、問題ばかりを見るのではなく、どうしたらご本人・ご家族の望む生活ができるのかを考え、気持ちに寄り添った支援を行うことが大切だと改めて感じることが出来ました。今後でも職種で連携し、安心して生活できるような地域へ繋いでいきたいと思っています。
（地域医療連携室 笠木 梢）



- ★《ご協力頂いた事業所さま》
- ★ひさまつクリニック
- ★平和会訪問看護ステーション
- ★カクイックスウィング
- ★林ケアサポート居宅介護支援事業所